



平成28年11月10日

各 位

会 社 名 アンドール株式会社
代表者名 代表取締役社長 和田 良明
(コード：4640東証JASDAQ)
問合せ先 管理部長 田中 定行
(TEL. 03-3243-1711)

「平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年11月8日付「当年度および過年度に係る決算短信の一部訂正に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、当年度および過年度の決算短信等の訂正が完了いたしましたのでお知らせいたします。
なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後および訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には____を付して表示しております。

以 上



(訂正後)

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場会社名 アンドール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4640 URL http://www.andor.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)笹淵裕司
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)西脇博久 TEL 03-3243-1711
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,134	6.3	124	△38.7	178	△26.2	123	△24.2
26年3月期第3四半期	2,008	10.9	203	11.5	242	14.3	163	25.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 192百万円 (△19.7%) 26年3月期第3四半期 239百万円 (142.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	23.90	—
26年3月期第3四半期	31.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,355	1,638	69.5
26年3月期	2,209	1,461	66.1

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,638百万円 26年3月期 1,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,850	2.6	195	△36.4	210	△35.2	125	△40.3	24.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期3Q	5,184,140株	26年3月期	5,184,140株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	6,244株	26年3月期	6,244株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期3Q	5,177,896株	26年3月期3Q	5,178,311株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の経済・金融政策効果による企業収益の改善や設備投資の増加等、穏やかな回復への兆しが見られたものの、円安による原材料費の高騰や消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化等により、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、独自のソリューションシステムで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しています。

当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高は2,134,511千円（前年同期比6.3%増）となり、営業利益が124,640千円（前年同期比38.7%減）、経常利益は178,592千円（前年同期比26.2%減）となりました。

法人税、住民税及び事業税58,323千円、法人税等調整額△3,594千円を計上し、四半期純利益は123,732千円（前年同期比24.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようになっております。

I プロダクツ事業

自社の開発製品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER FXⅡ」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元統合CADシステム「CADSUPER Works」、「シンククライアントCADシステム」に対応した製品等を主力商品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品の販売で、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業に努める営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

3Dプリンタを始めとした新商材の売上高が寄与したものの、仕入コスト・販管費増等の影響により、この事業の売上高は465,550千円（前年同期比21.3%増）となり、営業利益は101,115千円（前年同期比1.1%減）となりました。

II エンジニアリングサービス事業

企業での生産プロセス全般にわたり技術者がシステムの受託開発からアウトソーシングサービス、製造分野での効率化を図るコンサルティングサービスやCADとソフトウェアの技術の利点を生かしての総合エンジニアリングサービスを行っております。

不良個所の改修に伴い、大幅な納期遅延による工数の増加にて不採算案件が発生したことでの損失、慢性的な技術者不足による外注コスト増、さらに、連結子会社にて成果物を納めることが出来ず納品不履行に至ったことでの損失により、この事業の売上高は、やや前期比を上回る1,651,453千円（前年同期比2.8%増）となり、営業利益は14,784千円（前年同期比83.7%減）となりました。

III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

建物修繕コストの増加により、この事業の売上高は17,508千円（前年同期比6.7%減）となり、営業利益は8,740千円（前年同期比17.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少（522,490千円から436,626千円へ）85,863千円、預け金の減少（111,894千円から101,938千円へ）9,956千円、ソフトウェアの減少（77,272千円から51,675千円へ）25,596千円、のれんの減少（10,385千円から2,596千円へ）7,789千円、繰延税金資産（固定資産）の減少（15,801千円から8,425千円へ）7,376千円等があったものの、現金及び預金の増加（668,999千円から734,248千円へ）65,248千円、その他（流動資産）の増加（23,523千円から34,906千円へ）11,382千円、ソフトウェア仮勘定の増加（3,776千円から52,818千円へ）49,042千円、投資有価証券の増加（374,854千円から531,476千円へ）156,622千円等により、前連結会計年度末に比べ146,042千円増加の2,355,641千円となりました。

負債は、その他（流動負債）の増加（77,840千円から128,956千円へ）51,115千円、繰延税金負債（固定負債）の計上20,353千円等があったものの、1年内返済予定の長期借入金の減少（28,570千円から15,000千円へ）13,570千円、未払法人税等の減少（91,964千円から24,247千円へ）67,717千円、賞与引当金の減少（46,069千円から23,773千円へ）22,296千円等により、前連結会計年度末に比べ30,787千円減少の717,341千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円等があったものの、その他有価証券評価差額金の増加（103,805千円から172,435千円へ）68,630千円、四半期純利益の計上123,732千円により、前連結会計年度末に比べ176,829千円増

加の1,638,299千円となり、自己資本比率は69.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきまして、平成26年5月15日公表の予想値を修正いたしました。

詳細は平成27年2月5日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	668,999	734,248
受取手形及び売掛金	522,490	436,626
有価証券	8,895	9,188
商品及び製品	200	200
仕掛品	4,072	7,201
貯蔵品	6,911	6,384
預け金	111,894	101,938
繰延税金資産	25,814	27,096
その他	23,523	34,906
流動資産合計	1,372,802	1,357,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	124,623	121,382
土地	189,346	189,346
その他（純額）	3,506	3,532
有形固定資産合計	317,476	314,261
無形固定資産		
のれん	10,385	2,596
ソフトウェア	77,272	51,675
ソフトウェア仮勘定	3,776	52,818
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	94,654	110,310
投資その他の資産		
投資有価証券	374,854	531,476
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	290	245
繰延税金資産	15,801	8,425
その他	41,518	41,055
貸倒引当金	△8,498	△8,623
投資その他の資産合計	424,664	573,277
固定資産合計	836,796	997,849
資産合計	2,209,598	2,355,641

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,894	162,657
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	28,570	15,000
未払法人税等	91,964	24,247
前受金	72,161	74,688
賞与引当金	46,069	23,773
その他	77,840	128,956
流動負債合計	506,501	459,322
固定負債		
長期借入金	88,750	77,500
役員退職慰労引当金	8,664	10,442
退職給付に係る負債	142,468	147,909
繰延税金負債	—	20,353
その他	1,744	1,814
固定負債合計	241,627	258,019
負債合計	748,128	717,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	857,663	965,862
自己株式	△1,888	△1,888
株主資本合計	1,357,664	1,465,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,805	172,435
その他の包括利益累計額合計	103,805	172,435
純資産合計	1,461,469	1,638,299
負債純資産合計	2,209,598	2,355,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,008,539	2,134,511
売上原価	1,499,811	1,697,140
売上総利益	508,727	437,370
販売費及び一般管理費	305,415	312,730
営業利益	203,312	124,640
営業外収益		
受取利息	439	386
受取配当金	1,869	2,697
固定資産賃貸料	585	1,053
持分法による投資利益	37,652	50,440
雑収入	190	882
営業外収益合計	40,737	55,459
営業外費用		
支払利息	1,952	1,261
貸倒引当金繰入額	—	125
雑損失	36	120
営業外費用合計	1,988	1,506
経常利益	242,060	178,592
特別利益		
投資有価証券売却益	15,344	62
特別利益合計	15,344	62
特別損失		
投資有価証券売却損	374	193
特別損失合計	374	193
税金等調整前四半期純利益	257,031	178,460
法人税、住民税及び事業税	84,539	58,323
法人税等調整額	9,191	△3,594
法人税等合計	93,730	54,728
少数株主損益調整前四半期純利益	163,300	123,732
四半期純利益	163,300	123,732

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	163,300	123,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,378	65,044
持分法適用会社に対する持分相当額	1,011	3,586
その他の包括利益合計	76,390	68,630
四半期包括利益	239,690	192,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239,690	192,363
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	383,846	1,605,927	18,765	2,008,539	2,008,539
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	383,846	1,605,927	18,765	2,008,539	2,008,539
セグメント利益	102,199	90,572	10,540	203,312	203,312

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	465,550	1,651,453	17,508	2,134,511	2,134,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	465,550	1,651,453	17,508	2,134,511	2,134,511
セグメント利益	101,115	14,784	8,740	124,640	124,640

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。



(訂正前)

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場会社名 アンドール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4640 URL http://www.andor.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)笹淵裕司
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)西脇博久 TEL 03-3243-1711
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,134	6.3	124	△38.7	178	△26.2	124	△25.2
26年3月期第3四半期	2,008	10.9	203	11.5	242	14.3	166	26.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 192百万円 (△20.5%) 26年3月期第3四半期 242百万円 (142.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	24.02	—
26年3月期第3四半期	32.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,355	1,651	70.1
26年3月期	2,209	1,474	66.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,651百万円 26年3月期 1,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,850	2.6	195	△36.4	210	△35.2	125	△40.3	24.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期3Q	5,184,140株	26年3月期	5,184,140株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	6,244株	26年3月期	6,244株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期3Q	5,177,896株	26年3月期3Q	5,178,311株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の経済・金融政策効果による企業収益の改善や設備投資の増加等、穏やかな回復への兆しが見られたものの、円安による原材料費の高騰や消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化等により、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、独自のソリューションシステムで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しています。

当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高は2,134,511千円（前年同期比6.3%増）となり、営業利益が124,640千円（前年同期比38.7%減）、経常利益は178,592千円（前年同期比26.2%減）となりました。

法人税、住民税及び事業税57,699千円、法人税等調整額△3,594千円を計上し、四半期純利益は124,355千円（前年同期比25.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようにしております。

I プロダクツ事業

自社の開発製品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER FXⅡ」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元統合CADシステム「CADSUPER Works」、「シンククライアントCADシステム」に対応した製品等を主力商品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品の販売で、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業に努める営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

3Dプリンタを始めとした新商材の売上高が寄与したものの、仕入コスト・販管費増等の影響により、この事業の売上高は465,550千円（前年同期比21.3%増）となり、営業利益は101,115千円（前年同期比1.1%減）となりました。

II エンジニアリングサービス事業

企業での生産プロセス全般にわたり技術者がシステムの受託開発からアウトソーシングサービス、製造分野での効率化を図るコンサルティングサービスやCADとソフトウェアの技術の利点を生かしての総合エンジニアリングサービスを行っております。

不良個所の改修に伴い、大幅な納期遅延による工数の増加にて不採算案件が発生したことでの損失、慢性的な技術者不足による外注コスト増、さらに、連結子会社にて成果物を納めることが出来ず納品不履行に至ったことでの損失により、この事業の売上高は、やや前期比を上回る1,651,453千円（前年同期比2.8%増）となり、営業利益は14,784千円（前年同期比83.7%減）となりました。

III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

建物修繕コストの増加により、この事業の売上高は17,508千円（前年同期比6.7%減）となり、営業利益は8,740千円（前年同期比17.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少（522,490千円から436,626千円へ）85,863千円、預け金の減少（111,894千円から101,938千円へ）9,956千円、ソフトウェアの減少（77,272千円から51,675千円へ）25,596千円、のれんの減少（10,385千円から2,596千円へ）7,789千円、繰延税金資産（固定資産）の減少（15,801千円から8,425千円へ）7,376千円等があったものの、現金及び預金の増加（668,999千円から734,248千円へ）65,248千円、その他（流動資産）の増加（23,523千円から34,906千円へ）11,382千円、ソフトウェア仮勘定の増加（3,776千円から52,818千円へ）49,042千円、投資有価証券の増加（374,854千円から531,476千円へ）156,622千円等により、前連結会計年度末に比べ146,042千円増加の2,355,641千円となりました。

負債は、その他（流動負債）の増加（77,840千円から128,956千円へ）51,115千円、繰延税金負債（固定負債）の計上20,353千円等があったものの、1年内返済予定の長期借入金の減少（28,570千円から15,000千円へ）13,570千円、未払法人税等の減少（79,316千円から10,975千円へ）68,341千円、賞与引当金の減少（46,069千円から23,773千円へ）22,296千円等により、前連結会計年度末に比べ31,410千円減少の704,069千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円等があったものの、その他有価証券評価差額金の増加（103,805千円から172,435千円へ）68,630千円、四半期純利益の計上124,355千円により、前連結会計年度末に比べ177,453千円増

加の1,651,571千円となり、自己資本比率は70.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきまして、平成26年5月15日公表の予想値を修正いたしました。

詳細は平成27年2月5日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	668,999	734,248
受取手形及び売掛金	522,490	436,626
有価証券	8,895	9,188
商品及び製品	200	200
仕掛品	4,072	7,201
貯蔵品	6,911	6,384
預け金	111,894	101,938
繰延税金資産	25,814	27,096
その他	23,523	34,906
流動資産合計	1,372,802	1,357,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	124,623	121,382
土地	189,346	189,346
その他（純額）	3,506	3,532
有形固定資産合計	317,476	314,261
無形固定資産		
のれん	10,385	2,596
ソフトウェア	77,272	51,675
ソフトウェア仮勘定	3,776	52,818
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	94,654	110,310
投資その他の資産		
投資有価証券	374,854	531,476
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	290	245
繰延税金資産	15,801	8,425
その他	41,518	41,055
貸倒引当金	△8,498	△8,623
投資その他の資産合計	424,664	573,277
固定資産合計	836,796	997,849
資産合計	2,209,598	2,355,641

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,894	162,657
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	28,570	15,000
未払法人税等	79,316	10,975
前受金	72,161	74,688
賞与引当金	46,069	23,773
その他	77,840	128,956
流動負債合計	493,852	446,050
固定負債		
長期借入金	88,750	77,500
役員退職慰労引当金	8,664	10,442
退職給付に係る負債	142,468	147,909
繰延税金負債	—	20,353
その他	1,744	1,814
固定負債合計	241,627	258,019
負債合計	735,480	704,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	870,312	979,134
自己株式	△1,888	△1,888
株主資本合計	1,370,313	1,479,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,805	172,435
その他の包括利益累計額合計	103,805	172,435
純資産合計	1,474,118	1,651,571
負債純資産合計	2,209,598	2,355,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,008,539	2,134,511
売上原価	1,499,811	1,697,140
売上総利益	508,727	437,370
販売費及び一般管理費	305,415	312,730
営業利益	203,312	124,640
営業外収益		
受取利息	439	386
受取配当金	1,869	2,697
固定資産賃貸料	585	1,053
持分法による投資利益	37,652	50,440
雑収入	190	882
営業外収益合計	40,737	55,459
営業外費用		
支払利息	1,952	1,261
貸倒引当金繰入額	—	125
雑損失	36	120
営業外費用合計	1,988	1,506
経常利益	242,060	178,592
特別利益		
投資有価証券売却益	15,344	62
特別利益合計	15,344	62
特別損失		
投資有価証券売却損	374	193
特別損失合計	374	193
税金等調整前四半期純利益	257,031	178,460
法人税、住民税及び事業税	81,615	57,699
法人税等調整額	9,191	△3,594
法人税等合計	90,806	54,104
少数株主損益調整前四半期純利益	166,224	124,355
四半期純利益	166,224	124,355

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	166,224	124,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,378	65,044
持分法適用会社に対する持分相当額	1,011	3,586
その他の包括利益合計	76,390	68,630
四半期包括利益	242,615	192,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242,615	192,986
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	383,846	1,605,927	18,765	2,008,539	2,008,539
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	383,846	1,605,927	18,765	2,008,539	2,008,539
セグメント利益	102,199	90,572	10,540	203,312	203,312

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	465,550	1,651,453	17,508	2,134,511	2,134,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	465,550	1,651,453	17,508	2,134,511	2,134,511
セグメント利益	101,115	14,784	8,740	124,640	124,640

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。